



西暦  
1130年のノーベル賞  
に相応しいのは

800年以上もの間(西暦630年から1430年)、イスラーム文明は世界を支配しました。アラビア語を共通語とするイスラーム世界は、学問研究において随一でした。イスラーム黄金期と呼ばれる時代には学問の発展において最盛期を迎え、医学や天文学、数学、工学などの専門分野に熟練した数多くの学者たちを生み出しました。彼らから知識を学ぼうと世界各地から学生たちが目指してやってきました。二人の学者、イブン・スィナーとハワーリズムの著作、それ以外の天才的学者たちがそうであったように、彼らの著作や論考は世界の数多くの大学で教科書として学び続けられました。彼らの著作はフランスの由緒ある学び舎ソロボン大学で1920年代まで教えられていたのです。

現代のノーベル賞受賞者を見てみると、賞が設立されてから受賞者は800人にも達しますが、そのなかにムスリムは7人しかいません。どうしてこのようなことが起きたのかと幾人かの人達は疑問に思うことでしょう。最初にイスラームの使徒に下されたクルアーンは「読め」という御言葉であり、それは知識、教育、知的発見へとはっきり呼びかけるものであり、世界を創造し統制するお方を認識することへと先導するものだからです!

